平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名　フィデアホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8713　URL　http://www.fidea.co.jp/
代表者　(役職名) 代表執行役社長　(氏名) 里村　正治
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役　(氏名) 原田　儀一郎　TEL 022-290-8800

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日　特定取引勘定設置の有無　無
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,204	14.8	2,848	41.0	1,747	18.0
25年3月期第1四半期	11,501	△4.2	2,019	3.4	1,479	36.5

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　△3,015百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△189百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	12.17	9.03
25年3月期第1四半期	10.31	7.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,565,324	74,807	2.8
25年3月期	2,488,060	78,692	3.1

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　73,633百万円　25年3月期　77,486百万円

(注)「自己資本比率」は(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	―	―	5.00	5.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		―	―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	△4.9	2,500	△12.7	17.42
通期	7,100	2.3	4,300	1.6	29.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	143,464,890 株	25年3月期	143,464,890 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	8,414 株	25年3月期	8,108 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	143,456,578 株	25年3月期1Q	143,458,482 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は次のとおりです。

B種優先株式	１株当たり配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	―	―	5.84	5.84
26年３月期	―				
26年３月期（予想）		―	―	5.44	5.44

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
４．（参考）個別業績の概況（株式会社　荘内銀行） …… 8
５．（参考）個別業績の概況（株式会社　北都銀行） …… 11
６．四半期決算補足説明資料
平成26年３月期　第１四半期決算短信　説明資料

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、公共投資の増加や設備投資・住宅需要の持ち直しの動きが見られたほか、輸出環境の改善等を背景に、輸送機械を中心に生産活動に持ち直しの動きが見られました。雇用情勢に厳しさが残るものの、マインドの改善等により個人消費も増加しており、景気回復に向け緩やかながらも着実に進んでおります。一方、当社グループの主たる営業エリアは、震災復旧関連工事を中心に公共投資が大幅に増加しているほか、住宅投資も前年を上回る状況が続いており、個人消費や生産活動も底堅く推移していることから、景気回復の動きが鮮明になりました。

このような状況下で、当第１四半期連結累計期間の連結経営成績のうち連結経常収益は、有価証券関係収益や役務取引等収益の増加等により、前年同期比17億３百万円（14.8％）増加の132億４百万円となりました。一方、連結経常費用は、国債等債券売却損や与信関係費用の増加等により、前年同期比８億74百万円（9.2％）増加の103億55百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年同期比８億29百万円（41.0％）増加の28億48百万円、連結四半期純利益は前年同期比２億67百万円（18.0％）増加の17億47百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の経営成績は、経常利益が前年同期比７億27百万円（81.6％）増加の16億18百万円、四半期純利益が前年同期比５億69百万円（119.1％）増加の10億48百万円となりました。一方、北都銀行単体の経営成績は、経常利益が前年同期比３億10百万円（40.9％）増加の10億69百万円、四半期純利益が前年同期比24百万円（4.7％）増加の５億44百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

当社グループ連結の主要勘定残高のうち、譲渡性預金を含む総預金の当第１四半期連結会計期間末残高は、個人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比1,029億円（4.4％）増加の２兆3,923億円となりました。貸出金の当第１四半期連結会計期間末残高は、事業性貸出の減少により、前連結会計年度末比156億円（0.9％）減少の１兆5,866億円となりました。有価証券の当第１四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比127億円（1.6％）増加し7,938億円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の総預金の当第１四半期会計期間末残高は前事業年度末比367億円（3.2％）増加し１兆1,801億円、貸出金の当第１四半期会計期間末残高は前事業年度末比38億円（0.4％）増加し8,683億円、有価証券の当第１四半期会計期間末残高は前事業年度末比144億円（4.2％）増加し3,546億円となりました。一方、北都銀行単体の総預金の当第１四半期会計期間末残高は前事業年度末比662億円（5.7％）増加し１兆2,258億円、貸出金の当第１四半期会計期間末残高は前事業年度末比194億円（2.5％）減少し7,312億円、有価証券の当第１四半期会計期間末残高は前事業年度末比17億円（0.3％）減少し4,477億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の連結子会社における建物及びその他の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法は、従来、主として定率法を採用しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

当社及び一部の連結子会社は、平成25年４月からスタートするフィデアグループ第２次中期経営計画（平成25年度～平成27年度）において、当連結会計年度以降、「店舗政策の策定」及び「基幹系システム更改を中心とした事務機器等の大規模な更新投資」が見込まれるため、投資案件について投資形態のあり方等も含めて総合的に検討を行いました。

これらの検討を契機に有形固定資産の減価償却方法を見直したところ、今後、営業店舗及び事務機器等は構造的陳腐化のリスクが低くなることにより長期的かつ安定的に利用され、また、修繕費等の設備維持コストは毎期概ね定額的に発生することなどにより、投資効果は長期的かつ安定的に発現すると見込まれるため、使用可能期間にわたり均等に費用を配分する定額法のほうがより使用実態を適切に反映すると判断したため、この変更を行ったものであります。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
現金預け金	59,222	134,136
買入金銭債権	4,531	4,477
商品有価証券	59	84
金銭の信託	1,966	2,008
有価証券	781,166	793,897
貸出金	1,602,277	1,586,655
外国為替	2,020	2,394
その他資産	9,184	13,535
有形固定資産	21,691	21,802
無形固定資産	1,982	2,351
繰延税金資産	4,388	5,443
支払承諾見返	14,265	13,675
貸倒引当金	△14,694	△15,139
資産の部合計	2,488,060	2,565,324
負債の部		
預金	2,182,791	2,219,744
譲渡性預金	106,607	172,586
コールマネー及び売渡手形	17,302	503
債券貸借取引受入担保金	－	9,923
借用金	58,170	42,310
外国為替	14	17
社債	10,000	10,000
その他負債	16,183	18,335
退職給付引当金	1,587	1,613
睡眠預金払戻損失引当金	539	495
偶発損失引当金	365	401
その他の引当金	56	43
繰延税金負債	816	201
再評価に係る繰延税金負債	666	666
支払承諾	14,265	13,675
負債の部合計	2,409,368	2,490,516
純資産の部		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,744	24,744
利益剰余金	22,708	23,592
自己株式	△1	△1
株主資本合計	62,451	63,335
その他有価証券評価差額金	13,929	9,190
繰延ヘッジ損益	△13	△11
土地再評価差額金	1,119	1,119
その他の包括利益累計額合計	15,034	10,297
少数株主持分	1,205	1,174
純資産の部合計	78,692	74,807
負債及び純資産の部合計	2,488,060	2,565,324

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
経常収益	11,501	13,204
資金運用収益	8,337	8,650
（うち貸出金利息）	6,734	6,469
（うち有価証券利息配当金）	1,589	2,157
役務取引等収益	2,085	2,445
その他業務収益	631	1,118
その他経常収益	445	989
経常費用	9,481	10,355
資金調達費用	734	791
（うち預金利息）	608	633
役務取引等費用	702	769
その他業務費用	244	646
営業経費	7,185	7,417
その他経常費用	614	730
経常利益	2,019	2,848
特別利益	23	－
固定資産処分益	3	－
負ののれん発生益	4	－
持分変動利益	15	－
特別損失	8	13
固定資産処分損	0	7
減損損失	7	5
税金等調整前四半期純利益	2,034	2,835
法人税、住民税及び事業税	201	351
法人税等調整額	533	761
法人税等合計	735	1,113
少数株主損益調整前四半期純利益	1,298	1,721
少数株主損失（△）	△181	△25
四半期純利益	1,479	1,747

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,298	1,721
その他の包括利益	△1,487	△4,737
その他有価証券評価差額金	△1,488	△4,739
繰延ヘッジ損益	0	1
四半期包括利益	△189	△3,015
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6	△2,989
少数株主に係る四半期包括利益	△182	△25

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

４．（参考）個別業績の概況（株式会社　荘内銀行）

平成25年８月６日

会　　社　　名　　株式会社　荘内銀行
代　　表　　者　　（役職名）取締役頭取　　（氏名）國井　英夫　　URL　http://www.shonai.co.jp/
問合せ先責任者　　（役職名）経営企画部長　　（氏名）宇野　寿人　　TEL　023-626-9006

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

○　平成26年３月期第１四半期の個別業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

(1) 個別経営成績（累計）　　（％表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	6,407	16.5	1,618	81.6	1,048	119.1
25年３月期第１四半期	5,495	△6.8	891	△17.9	478	△21.2

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	1,284,068	47,161	3.6
25年３月期	1,266,277	48,569	3.8

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期 47,161百万円　　25年３月期 48,569百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○　四半期個別財務諸表（株式会社　荘内銀行）

(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間末 （平成25年６月30日）
資産の部		
現金預け金	40,461	38,391
買入金銭債権	1,545	1,380
商品有価証券	31	39
金銭の信託	966	1,002
有価証券	340,195	354,648
貸出金	864,513	868,325
外国為替	864	1,447
その他資産	3,628	4,918
有形固定資産	12,030	12,051
無形固定資産	601	703
支払承諾見返	5,568	5,393
貸倒引当金	△4,132	△4,233
資産の部合計	1,266,277	1,284,068
負債の部		
預金	1,080,884	1,085,569
譲渡性預金	62,591	94,607
コールマネー	9,302	503
債券貸借取引受入担保金	－	9,923
借用金	41,040	24,800
外国為替	0	0
社債	10,000	10,000
その他負債	5,689	4,023
退職給付引当金	933	975
睡眠預金払戻損失引当金	154	154
偶発損失引当金	78	107
繰延税金負債	797	183
再評価に係る繰延税金負債	666	666
支払承諾	5,568	5,393
負債の部合計	1,217,707	1,236,906
純資産の部		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	18,808	18,808
利益剰余金	14,655	15,097
株主資本合計	40,464	40,905
その他有価証券評価差額金	6,999	5,148
繰延ヘッジ損益	△13	△11
土地再評価差額金	1,119	1,119
評価・換算差額等合計	8,105	6,256
純資産の部合計	48,569	47,161
負債及び純資産の部合計	1,266,277	1,284,068

(2) 四半期損益計算書

（第１四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
経常収益	5,495	6,407
資金運用収益	4,406	4,603
（うち貸出金利息）	3,565	3,492
（うち有価証券利息配当金）	835	1,103
役務取引等収益	905	1,170
その他業務収益	97	199
その他経常収益	86	434
経常費用	4,604	4,789
資金調達費用	489	549
（うち預金利息）	379	409
役務取引等費用	467	495
その他業務費用	0	130
営業経費	3,412	3,453
その他経常費用	234	160
経常利益	891	1,618
特別損失	0	－
固定資産処分損	0	－
税引前四半期純利益	891	1,618
法人税、住民税及び事業税	93	151
法人税等調整額	319	418
法人税等合計	412	570
四半期純利益	478	1,048

５．（参考）個別業績の概況（株式会社　北都銀行）

平成25年８月６日

会　　社　　名　　株式会社　北都銀行
代　　表　　者　　（役職名）取締役頭取　　（氏名）斉藤　永吉　　URL http://www.hokutobank.co.jp/
問合せ先責任者　　（役職名）経営企画部長　　（氏名）伊藤　元範　　TEL　018-833-4211

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

○　平成26年３月期第１四半期の個別業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

(1) 個別経営成績（累計）　　（%表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	6,013	12.8	1,069	40.9	544	4.7
25年３月期第１四半期	5,330	△5.5	758	△7.6	519	5.9

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	1,304,551	40,279	3.0
25年３月期	1,244,761	42,905	3.4

（参考）自己資本　　26年３月期第１四半期 40,279百万円　　25年３月期 42,905百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○　四半期個別財務諸表（株式会社　北都銀行）

(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間末 （平成25年６月30日）
資産の部		
現金預け金	18,669	95,692
買入金銭債権	1,481	1,609
商品有価証券	27	45
金銭の信託	1,000	1,006
有価証券	449,459	447,734
貸出金	750,732	731,270
外国為替	1,155	947
その他資産	4,635	7,835
有形固定資産	13,107	13,184
無形固定資産	958	1,232
繰延税金資産	3,952	4,965
支払承諾見返	8,718	8,303
貸倒引当金	△7,257	△7,395
投資損失引当金	△1,879	△1,879
資産の部合計	1,244,761	1,304,551
負債の部		
預金	1,111,428	1,143,719
譲渡性預金	48,216	82,179
コールマネー	8,000	―
借用金	19,630	20,010
外国為替	14	16
その他負債	3,701	7,938
睡眠預金払戻損失引当金	385	340
偶発損失引当金	287	294
再評価に係る繰延税金負債	1,474	1,469
支払承諾	8,718	8,303
負債の部合計	1,201,856	1,264,272
純資産の部		
資本金	11,000	11,000
資本剰余金	18,499	18,499
利益剰余金	3,740	4,033
株主資本合計	33,240	33,533
その他有価証券評価差額金	7,230	4,317
土地再評価差額金	2,434	2,428
評価・換算差額等合計	9,665	6,746
純資産の部合計	42,905	40,279
負債及び純資産の部合計	1,244,761	1,304,551

(2) 四半期損益計算書

（第１四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
経常収益	5,330	6,013
資金運用収益	3,975	3,979
（うち貸出金利息）	3,144	3,010
（うち有価証券利息配当金）	823	953
役務取引等収益	961	1,064
その他業務収益	181	683
その他経常収益	211	285
経常費用	4,571	4,943
資金調達費用	243	257
（うち預金利息）	228	223
役務取引等費用	287	339
その他業務費用	103	401
営業経費	3,535	3,619
その他経常費用	401	325
経常利益	758	1,069
特別利益	2	－
固定資産処分益	2	－
特別損失	8	16
固定資産処分損	0	7
減損損失	7	9
税引前四半期純利益	753	1,052
法人税、住民税及び事業税	21	113
法人税等調整額	212	395
法人税等合計	233	508
四半期純利益	519	544

６．四半期決算補足説明資料

平成 26 年３月期　第１四半期決算短信　説明資料

１．損益の状況

（１）フィデアホールディングス【連結】

平成26年３月期第１四半期の連結経常収益は前年同期比17億３百万円増加の132億４百万円（前年同期比14.8%増加）となりました。
連結経常利益は前年同期比８億29百万円増加の28億48百万円（同41.0%増加）、連結四半期純利益は前年同期比２億67百万円増加の17億47百万円（同18.0%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第１四半期（３カ月累計） (A)	平成25年３月期 第１四半期（３カ月累計） (B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考） 平成26年３月期 第２四半期累計期間予想値
連結経常収益	1	13,204	11,501	1,703	
連結粗利益	2	10,006	9,374	632	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(9,689)	(9,180)	(508)	
資金利益	4	7,858	7,603	255	
役務取引等利益	5	1,675	1,383	291	
その他業務利益	6	472	387	84	
（うち国債等債券損益）	7	(317)	(194)	(123)	
経費（除く臨時処理分）	8	7,299	7,067	231	
連結業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	9	2,707	2,306	400	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	10	2,389	2,112	277	
①一般貸倒引当金繰入額	11	△ 68	△ 81	12	
連結業務純益	12	2,776	2,387	388	
臨時損益	13	72	△ 368	441	
②うち不良債権処理額	14	696	365	331	
③うち貸倒引当金戻入益	15	―	―	―	
④うち償却債権取立益	16	34	57	△ 22	
うち株式等関係損益	17	588	△ 194	783	
連結経常利益	18	2,848	2,019	829	4,200
特別損益	19	△ 13	14	△ 28	
税金等調整前四半期純利益	20	2,835	2,034	800	
法人税、住民税及び事業税	21	351	201	149	
法人税等調整額	22	761	533	228	
法人税等合計	23	1,113	735	378	
少数株主損益調整前四半期純利益	24	1,721	1,298	422	
少数株主損益	25	△ 25	△ 181	155	
連結四半期純利益	26	1,747	1,479	267	2,500

与信関係費用（①＋②－③－④）	27	593	226	366

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．平成 26 年３月期第１四半期より「経費」、「連結業務純益」、「臨時損益」を記載し、前年同期についても同様に記載しております。
３．連結粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
４．連結業務純益＝連結粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

（２）２行合算【単体】

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第１四半期 （３カ月累計） (A)	平成25年３月期 第１四半期 （３カ月累計） (B)	前年同四半期 対比 (A)－(B)
経常収益	1	12,420	10,826	1,594
業務粗利益	2	9,527	8,936	591
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(9,102)	(8,742)	(360)
資金利益	4	7,776	7,648	127
役務取引等利益	5	1,400	1,112	287
その他業務利益	6	351	174	176
（うち国債等債券損益）	7	(425)	(194)	(231)
経費（除く臨時処理分）	8	6,926	6,796	130
人件費	9	3,195	3,159	36
物件費	10	3,374	3,310	64
税金	11	356	327	29
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	2,601	2,139	461
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	2,175	1,945	230
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 58	99	△ 157
業務純益	15	2,659	2,040	618
臨時損益	16	29	△ 391	420
②不良債権処理額	17	471	203	268
貸出金償却	18	―	―	―
個別貸倒引当金繰入額	19	407	149	257
バルクセール売却損	20	―	―	―
その他の不良債権処理額	21	64	53	11
③貸倒引当金戻入益	22	―	67	△ 67
④償却債権取立益	23	19	32	△ 13
株式等関係損益	24	612	△ 178	790
その他臨時損益	25	△ 130	△ 110	△ 20
経常利益	26	2,688	1,649	1,038
特別損益	27	△ 16	△ 5	△ 11
税引前四半期純利益	28	2,671	1,644	1,027
法人税、住民税及び事業税	29	264	114	150
法人税等調整額	30	813	531	282
法人税等合計	31	1,078	646	432
四半期純利益	32	1,592	997	594

与信関係費用（①＋②－③－④）	33	394	201	192

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．業務粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用＋金銭の信託見合費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

（３）子銀行【単体】

○ 荘内銀行

平成26年３月期第１四半期の経常収益は前年同期比９億12百万円増加の64億７百万円（前年同期比16.5%増加）となりました。
経常利益は前年同期比７億27百万円増加の16億18百万円（同81.6%増加）、四半期純利益は前年同期比５億69百万円増加の10億48百万円（同119.1%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第１四半期（３カ月累計） (A)	平成25年３月期 第１四半期（３カ月累計） (B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考） 平成26年３月期 第２四半期累計期間予想値
経常収益	1	6,407	5,495	912	
業務粗利益	2	4,798	4,452	346	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(4,673)	(4,416)	(257)	
資金利益	4	4,054	3,916	137	
役務取引等利益	5	674	438	236	
その他業務利益	6	69	97	△ 28	
（うち国債等債券損益）	7	(125)	(35)	(89)	
経費（除く臨時処理分）	8	3,343	3,305	38	
人件費	9	1,672	1,682	△ 10	
物件費	10	1,516	1,479	37	
税金	11	154	143	11	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	1,455	1,146	308	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	1,329	1,110	218	
①一般貸倒引当金繰入額	14	43	―	43	
業務純益	15	1,412	1,146	265	
臨時損益	16	206	△ 255	462	
②不良債権処理額	17	89	19	69	
貸出金償却	18	―	―	―	
個別貸倒引当金繰入額	19	58	―	58	
バルクセール売却損	20	―	―	―	
その他の不良債権処理額	21	30	19	11	
③貸倒引当金戻入益	22	―	67	△ 67	
④償却債権取立益	23	0	0	―	
株式等関係損益	24	405	△ 164	570	
その他臨時損益	25	△ 109	△ 139	29	
経常利益	26	1,618	891	727	2,400
特別損益	27	―	△ 0	0	
税引前四半期純利益	28	1,618	891	727	
法人税、住民税及び事業税	29	151	93	58	
法人税等調整額	30	418	319	99	
法人税等合計	31	570	412	157	
四半期純利益	32	1,048	478	569	1,450

与信関係費用（①＋②－③－④）	33	131	△ 48	180

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．業務粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用＋金銭の信託見合費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

○ 北都銀行

平成26年３月期第１四半期の経常収益は、前年同期比６億82百万円増加の60億13百万円（前年同期比12.8%増加）となりました。
経常利益は前年同期比３億10百万円増加の10億69百万円（同40.9%増加）、四半期純利益は前年同期比24百万円増加の５億44百万円（同4.7%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成26年３月期 第１四半期 （３カ月累計） (A)	平成25年３月期 第１四半期 （３カ月累計） (B)	前年同四半期 対比 (A)－(B)	（参考） 平成26年３月期 第２四半期累計 期間予想値
経常収益	1	6,013	5,330	682	
業務粗利益	2	4,729	4,484	245	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(4,429)	(4,325)	(103)	
資金利益	4	3,721	3,732	△ 10	
役務取引等利益	5	725	674	51	
その他業務利益	6	281	77	204	
（うち国債等債券損益）	7	(300)	(158)	(141)	
経費（除く臨時処理分）	8	3,583	3,491	92	
人件費	9	1,523	1,476	46	
物件費	10	1,857	1,830	26	
税金	11	202	184	18	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	1,145	993	152	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	845	834	11	
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 101	99	△ 200	
業務純益	15	1,246	894	352	
臨時損益	16	△ 177	△ 135	△ 42	
②不良債権処理額	17	382	183	199	
貸出金償却	18	—	—	—	
個別貸倒引当金繰入額	19	348	149	199	
バルクセール売却損	20	—	—	—	
その他の不良債権処理額	21	34	34	△ 0	
③貸倒引当金戻入益	22	—	—	—	
④償却債権取立益	23	19	32	△ 13	
株式等関係損益	24	206	△ 13	220	
その他臨時損益	25	△ 20	29	△ 49	
経常利益	26	1,069	758	310	1,500
特別損益	27	△ 16	△ 5	△ 11	
税引前四半期純利益	28	1,052	753	299	
法人税、住民税及び事業税	29	113	21	91	
法人税等調整額	30	395	212	183	
法人税等合計	31	508	233	274	
四半期純利益	32	544	519	24	850

与信関係費用（①＋②－③－④）	33	262	249	12

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．業務粗利益＝（資金運用収益－資金調達費用＋金銭の信託見合費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）
３．業務純益＝業務粗利益－経費（除く臨時処理分）－一般貸倒引当金繰入額

２．金融再生法開示債権の状況【単体】

◆ 荘内銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成25年３月末比0.09ポイント増加の1.90%（平成24年６月末比0.67ポイント減少）となりました。
同行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率は1.75%となります。
◆ 北都銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成25年３月末比0.03ポイント減少の2.93%（同0.03ポイント増加）となりました。

（１）２行合算

（単位：百万円）

	平成25年６月末	平成24年６月末	平成25年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,913	7,731	7,451
危険債権	22,104	20,050	20,677
要管理債権	9,620	14,585	10,443
合計 (A)	38,638	42,368	38,572
正常債権	1,587,420	1,509,021	1,602,333
総与信 (B)	1,626,059	1,551,390	1,640,905
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.37%	2.73%	2.35%

（注） １．上記計数は、(2)に記載の各子銀行の計数を単純合算しております。
２．荘内銀行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率（２行合算）は2.29%となります。

（２）子銀行

○ 荘内銀行

（単位：百万円）

	平成25年６月末	平成24年６月末	平成25年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,106	4,660	3,976
危険債権	8,371	7,080	7,670
要管理債権	4,398	9,605	4,340
合計 (A)	16,876	21,345	15,987
正常債権	867,957	806,708	864,275
総与信 (B)	884,834	828,054	880,262
総与信に占める割合 (A)÷(B)	1.90%	2.57%	1.81%

（注） １．上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、荘内銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分について直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

○ 北都銀行

（単位：百万円）

	平成25年６月末	平成24年６月末	平成25年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,806	3,071	3,474
危険債権	13,733	12,970	13,006
要管理債権	5,221	4,980	6,103
合計 (A)	21,761	21,022	22,584
正常債権	719,463	702,313	738,058
総与信 (B)	741,225	723,335	760,642
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.93%	2.90%	2.96%

（注） １．上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、北都銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

３．時価のある有価証券の評価差額【連結】【単体】

（単位：百万円）

		平成25年６月末				平成25年３月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
				うち益	うち損			うち益	うち損
フィデアＨＤ【連結】	その他有価証券	790,968	13,751	17,570	3,818	778,346	20,923	24,326	3,403
	株式	18,025	3,527	3,868	340	17,095	2,816	3,246	429
	債券	685,061	3,909	5,340	1,431	673,968	10,207	10,645	437
	その他	87,881	6,315	8,361	2,046	87,282	7,899	10,434	2,535
２行合算【単体】	その他有価証券	790,871	13,928	18,063	4,134	778,245	21,140	24,749	3,608
	株式	17,928	3,663	3,956	292	16,995	2,983	3,362	378
	債券	685,061	4,337	5,646	1,308	673,968	10,839	11,025	185
	その他	87,881	5,927	8,460	2,533	87,282	7,316	10,361	3,044
荘内銀行【単体】	その他有価証券	352,659	7,961	10,821	2,859	338,057	10,845	13,445	2,600
	株式	12,260	2,882	3,129	247	11,934	2,281	2,592	310
	債券	289,925	2,785	3,553	768	278,206	6,120	6,147	27
	その他	50,473	2,293	4,137	1,843	47,916	2,443	4,706	2,262
北都銀行【単体】	その他有価証券	438,211	5,967	7,242	1,274	440,187	10,294	11,303	1,008
	株式	5,668	781	826	45	5,060	701	769	67
	債券	395,135	1,552	2,092	540	395,761	4,719	4,877	158
	その他	37,407	3,633	4,322	689	39,365	4,873	5,655	782

（注）１．有価証券について記載しております。
２．「評価差額」及び「評価損益」は、取得原価（償却原価適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。
３．株式については、決算日前１カ月の市場価格の平均に基づいて算定された価額を、また、それ以外については、決算日における市場価格等に基づく価額を時価としております。
４．平成25年３月末においては、変動利付国債について、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、当社グループが定める一定の基準に基づき市場価格を時価とみなせない状態にあると判断したものは、合理的に算定された価額をもって時価としております。
平成25年６月末においては、保有する全ての変動利付国債について市場価格を時価とみなすことが相当と判断し、市場価格をもって時価としております。
５．なお、満期保有目的の債券及び時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

４．預金、貸出金等の状況【単体】

（１）預金等（含む譲渡性預金）

◆ 荘内銀行の平成25年６月末における預金等の残高は平成25年３月末比367億円増加の１兆1,801億76百万円（平成24年６月末比1,152億61百万円増加）となりました。
◆ 北都銀行の平成25年６月末における預金等の残高は平成25年３月末比662億54百万円増加の１兆2,258億99百万円（同460億42百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成25年６月末	平成24年６月末	平成25年３月末
２行合算	預金等（含む譲渡性預金）	2,406,075	2,244,771	2,303,121
	うち個人預金	1,701,044	1,597,039	1,665,380
荘内銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,180,176	1,064,914	1,143,475
	うち個人預金	839,816	762,596	823,638
北都銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,225,899	1,179,857	1,159,645
	うち個人預金	861,227	834,443	841,741

（２）貸出金

◆ 荘内銀行の平成25年６月末における貸出金の残高は平成25年３月末比38億11百万円増加の8,683億25百万円（平成24年６月末比561億41百万円増加）となりました。
◆ 北都銀行の平成25年６月末における貸出金の残高は平成25年３月末比194億62百万円減少の7,312億70百万円（同177億90百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成25年６月末	平成24年６月末	平成25年３月末
２行合算	貸出金	1,599,595	1,525,663	1,615,245
	うち消費者ローン残高	546,108	514,285	539,726
	うち住宅ローン残高	491,915	462,963	485,715
荘内銀行	貸出金	868,325	812,184	864,513
	うち消費者ローン残高	353,168	324,195	346,810
	うち住宅ローン残高	332,352	304,202	326,199
北都銀行	貸出金	731,270	713,479	750,732
	うち消費者ローン残高	192,940	190,090	192,915
	うち住宅ローン残高	159,562	158,761	159,515

５．投資信託及び公共債の預かり残高、生命保険の販売累計額【単体】

◆ 荘内銀行の平成25年６月末における投資信託の預かり残高は平成25年３月末比44億80百万円減少の610億43百万円（平成24年６月末比53億26百万円減少）となり、生命保険の販売累計額は平成25年３月末比58億52百万円増加の1,902億80百万円（同234億90百万円増加）となりました。

◆ 北都銀行の平成25年６月末における投資信託の預かり残高は平成25年３月末比11億85百万円減少の397億78百万円（同10億58百万円増加）となり、生命保険の販売累計額は平成25年３月末比48億75百万円増加の1,552億55百万円（同219億23百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成25年６月末	平成24年６月末	平成25年３月末
２行合算	投資信託	100,821	105,089	106,488
	公共債（国債等）	35,085	41,622	36,193
	生命保険	345,535	300,121	334,807
	うち個人年金保険	209,128	202,165	207,500
	うち一時払い終身保険	136,407	97,955	127,307
荘内銀行	投資信託	61,043	66,369	65,524
	公共債（国債等）	11,120	12,229	11,062
	生命保険	190,280	166,790	184,428
	うち個人年金保険	117,086	113,968	116,058
	うち一時払い終身保険	73,194	52,821	68,369
北都銀行	投資信託	39,778	38,720	40,964
	公共債（国債等）	23,964	29,392	25,130
	生命保険	155,255	133,331	150,379
	うち個人年金保険	92,041	88,197	91,441
	うち一時払い終身保険	63,213	45,134	58,937

（注）生命保険は、販売累計額を記載しております。

平成 25 年８月６日

各　　位

フィデアホールディングス株式会社
株 式 会 社　荘 内 銀 行
株 式 会 社　北 都 銀 行

平成 26 年 3 月期（平成 25 年度）第 1 四半期　決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアＨＤ」）は、平成 26 年３月期（平成 25 年度）第１四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアＨＤ

(1) 平成 26 年３月期第１四半期（平成 25 年４月１日～平成 25 年６月 30 日）連結業績

業容拡大による資金利益と役務取引等利益の増加や有価証券関係収益の増加等で、前年同期比増収増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比 1,588 億円（7.1%）増加の２兆 3,923 億円。貸出金の期末残高は、個人ローン、地方公共団体向け貸出が増加し、前年同期末比 700 億円（4.6%）増加の１兆 5,866 億円となった。

			番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損益	経常収益	(1)	13,204 百万円	11,501 百万円	1,703 百万円	14.8 %
		業務純益	(2)	2,776 百万円	2,387 百万円	388 百万円	16.2 %
		コア業務純益*	(3)	2,389 百万円	2,112 百万円	277 百万円	13.1 %
		経常利益	(4)	2,848 百万円	2,019 百万円	829 百万円	41.0 %
		四半期純利益	(5)	1,747 百万円	1,479 百万円	267 百万円	18.0 %
	主要勘定残高（末残）	総資産	(6)	25,653 億円	23,921 億円	1,731 億円	7.2 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	23,923 億円	22,335 億円	1,588 億円	7.1 %
		貸出金	(8)	15,866 億円	15,165 億円	700 億円	4.6 %
		有価証券	(9)	7,938 億円	7,349 億円	589 億円	8.0 %
【合算】	不良債権	金融再生法開示債権額	(10)	38,638 百万円	42,368 百万円	△ 3,730 百万円	△ 8.8 %
		総与信に占める割合	(11)	2.37 %	2.73 %	△ 0.36 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年３月期連結業績予想

フィデアＨＤ、荘内銀行、北都銀行の３社とも平成 25 年５月 10 日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

		番号	第2四半期累計期間	前年同期比	同増減率	通期	前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	経常利益	(12)	4,200 百万円	△ 219 百万円	△ 4.9 %	7,100 百万円	162 百万円	2.3 %
	当期(中間)純利益	(13)	2,500 百万円	△ 365 百万円	△ 12.7 %	4,300 百万円	71 百万円	1.6 %

(次ページへ)

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】
フィデアホールディングス　ＩＲグループ
大石　TEL：018-833-4211
佐藤　TEL：023-626-9006

くわしくは、「平成 26 年３月期第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

2. 荘内銀行

(1) 平成 26 年３月期第１四半期（平成 25 年４月１日～平成 25 年６月 30 日）単体業績

業容拡大による資金利益と役務取引等利益の増加や有価証券関係収益の増加等で、前年同期比増収増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金のほか、法人預金、公金預金がいずれも増加し、前年同期末比 1,152 億円（10.8%）増加の１兆 1,801 億円と引き続き大きく伸長。貸出金残高は、個人ローンのほか、地方公共団体向け貸出が増加し、前年同期末比 561 億円（6.9%）増加の 8,683 億円。

			番号	荘内銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(14)	6,407 百万円	5,495 百万円	912 百万円	16.5 %
		業務純益	(15)	1,412 百万円	1,146 百万円	265 百万円	23.1 %
		コア業務純益*	(16)	1,329 百万円	1,110 百万円	218 百万円	19.7 %
		経常利益	(17)	1,618 百万円	891 百万円	727 百万円	81.6 %
		四半期純利益	(18)	1,048 百万円	478 百万円	569 百万円	119.1 %
	主要勘定残高（末残）	預金等(含む譲渡性預金)	(19)	11,801 億円	10,649 億円	1,152 億円	10.8 %
		貸出金	(20)	8,683 億円	8,121 億円	561 億円	6.9 %
		有価証券	(21)	3,546 億円	2,895 億円	650 億円	22.4 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(22)	16,876 百万円	21,345 百万円	△ 4,469 百万円	△ 20.9 %
		総与信に占める割合	(23)	1.90 %	2.57 %	△ 0.67 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年 3 月期単体業績予想

		番号	第2四半期累計期間	前年同期比	同増減率	通期	前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常利益	(24)	2,400 百万円	830 百万円	52.9 %	3,750 百万円	22 百万円	0.5 %
	当期(中間)純利益	(25)	1,450 百万円	549 百万円	61.0 %	2,300 百万円	469 百万円	25.6 %

---

3. 北都銀行

(1) 平成 26 年３月期第１四半期（平成 25 年４月１日～平成 25 年６月 30 日）単体業績

有価証券利息配当金をはじめとした有価証券関係収益の増加やコンサルティング営業の推進による預かり資産関連手数料の増加で、前年同期比増収増益。

譲渡性預金を含む預金等残高は、信用のバロメーターといわれる個人預金と、法人預金を中心に増加し、前年同期末比 460 億円（3.9%）増加の１兆 2,258 億円。貸出金残高は、個人ローンや地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前年同期末比 177 億円（2.4%）増加の 7,312 億円。

			番号	北都銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(26)	6,013 百万円	5,330 百万円	682 百万円	12.8 %
		業務純益	(27)	1,246 百万円	894 百万円	352 百万円	39.4 %
		コア業務純益*	(28)	845 百万円	834 百万円	11 百万円	1.3 %
		経常利益	(29)	1,069 百万円	758 百万円	310 百万円	40.9 %
		四半期純利益	(30)	544 百万円	519 百万円	24 百万円	4.7 %
	主要勘定残高（末残）	預金等(含む譲渡性預金)	(31)	12,258 億円	11,798 億円	460 億円	3.9 %
		貸出金	(32)	7,312 億円	7,134 億円	177 億円	2.4 %
		有価証券	(33)	4,477 億円	4,539 億円	△ 61 億円	△ 1.3 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(34)	21,761 百万円	21,022 百万円	739 百万円	3.5 %
		総与信に占める割合	(35)	2.93 %	2.90 %	0.03 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 26 年 3 月期単体業績予想

		番号	第2四半期累計期間	前年同期比	同増減率	通期	前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常利益	(36)	1,500 百万円	△ 146 百万円	△ 8.8 %	2,900 百万円	863 百万円	42.4 %
	当期(中間)純利益	(37)	850 百万円	△ 53 百万円	△ 5.9 %	1,700 百万円	494 百万円	40.9 %

以　上